



## 岐阜県鉱工業指数 (平成20年7月分)

### 生産指数 前月比3.2%の上昇

#### 1 概況

平成20年7月の県内鉱工業の動向を季節調整済指数でみると、電気機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が低下したものの、輸送機械工業、一般機械工業等が上昇したため、前月に比べ生産指数は3.2%増と上昇に転じた。また、出荷指数も5.3%増と上昇に転じ、在庫指数は1.0%増と4カ月連続で上昇した。

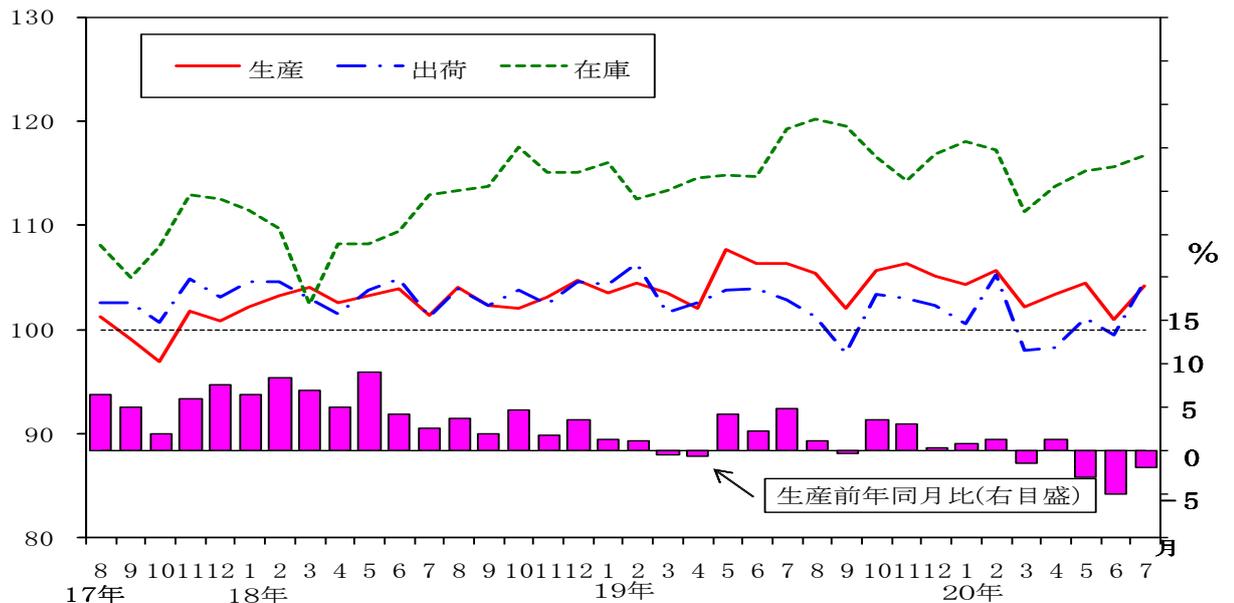
なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は2.0%減となり、3カ月連続で前年を下回った。

(平成12年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	104.2	3.2	105.0	△ 2.0
出荷	104.7	5.3	103.8	1.7
在庫	116.7	1.0	118.5	△ 2.1

鉱工業指数の推移

(平成12年=100)



注：指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。

原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

## 2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、超硬チップ、スチール又はステンレスシャッター等が減少したものの、ボルト・ナット、アルミサッシ等が増加したため、2.5%増と上昇に転じた。また、出荷も0.5%増と上昇に転じ、在庫は0.7%減と3カ月連続で低下した。

機械工業の生産は、携帯電話、半導体集積回路等が減少したものの、乗用車ボデー、懸架制動装置部品（ショックアブソーバ）等が増加したため、4.6%増と上昇に転じた。また、出荷も8.0%増と上昇に転じ、在庫も3.0%増と上昇に転じた。

窯業・土石製品工業の生産は、研削砥石、プレストコンクリート製品（はり・けた）等が減少したものの、生コンクリート、ファインセラミックス等が増加したため、3.1%増と4カ月ぶりに上昇した。また、出荷も6.7%増と3カ月ぶりに上昇し、在庫は0.5%減と5カ月ぶりに低下した。

プラスチック製品工業の生産は、発泡プラスチック製品、日用品・雑貨プラスチック製品等が減少したものの、プラスチック製フィルム、プラスチック製機械器具部品等が増加したため、上昇に転じた。また、出荷も4.7%増と上昇に転じ、在庫は2.9%減と3カ月連続で低下した。

繊維工業の生産は、不織布、毛織物等が増加したものの、織物製外衣、ニット製靴下等が減少したため、0.9%減と前月に引き続き低下した。また、出荷は6.3%減と低下に転じ、在庫は4.0%増と3カ月連続で上昇した。

主要業種別動向

(季節調整済、平成12年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)
金属製品工業	122.3	2.5	11.4	116.3	0.5	12.0	60.6	△ 0.7	△ 8.9
機械工業	122.1	4.6	3.9	128.4	8.0	4.4	189.7	3.0	△ 1.1
一般機械工業	129.1	2.9	△ 4.4	128.4	1.3	△ 3.9	-	-	-
電気機械工業	71.0	△ 6.1	△ 10.2	87.0	8.2	△ 8.3	-	-	-
輸送機械工業	173.8	14.6	22.3	179.2	15.1	24.0	-	-	-
窯業・土石製品工業	88.5	3.1	△ 25.5	87.3	6.7	△ 16.6	111.9	△ 0.5	7.7
プラスチック製品工業	97.8	2.9	△ 1.8	100.8	4.7	6.4	94.8	△ 2.9	△ 11.6
繊維工業	55.4	△ 0.9	△ 5.4	45.0	△ 6.3	△ 12.6	44.6	4.0	△ 7.9

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成12年=100)

